

針木浄水場 構内交換設備 更新工事

図番	図面名称
E-01	特記仕様書(1)
E-02	特記仕様書(2)
E-03	付近見取図、全体平面図
E-04	構内交換設備系統図
E-05	管理本館地下2階平面図
E-06	管理本館地下1階平面図
E-07	管理本館1階平面図
E-08	管理本館2階平面図
E-09	管理本館3階平面図
E-10	凝集沈殿池管廊、総合配水池管廊 平面図
E-11	仁淀川系揚水所 地下8階、地下5階 平面図
E-12	仁淀川系揚水所 地下4階、地下2階 平面図
E-13	仁淀川系揚水所 地下1階、1階 平面図

項目	特記事項																																
電気設備特記仕様																																	
① 機材	メーカーリストによる。																																
2 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ ※ 本工事 ・ 別途工事 補強 ・ 本工事 ※ 別途工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ・ 本工事 ※ 別途工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事) ただし、ダウンライト等、切込み寸法が小さいものは除く 天井点検口の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事) 軽量鉄骨製のボックス取付用の下地材の切込み及び補強 ※ 本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の 保 枠 ※ 本工事 ・ 別途工事 補強 ・ 本工事 ※ 別途工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※ 本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ・ 本工事 ※ 別途工事 屋外の受電設備基礎 ※ 本工事 ・ 別途工事 動力機器(電動機など)への接続 ※ 本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※ 本工事 ・ 別途工事																																
③ 電線類	EMケーブルとする。EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル(FP)及び耐火ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。																																
4 電線管	屋外露出配管 鋼管を使用する場合 ※ 溶融亜鉛めっき ・ プライマ処理後指定色塗装(2回塗り) ビニール電線管を使用する場合 ※ カラー管を使用する PF管は標準管(タイプ-25)とする。																																
5 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。																																
6 フラッシュプレート材質	・ 樹脂製 ・ 新金属 ・ ステンレス																																
7 カバープレート	用途別表示としてシール等を貼付する。																																
8 接地極	※ 下記による。なお接地極Eの長さは1,500mmとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同接地</td> <td>E A E D</td> <td>10Ω 以下</td> <td>E B (14φ) x 3連-2組</td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>E A</td> <td>10Ω 以下</td> <td>E B (14φ) x 3連-2組</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>E B</td> <td>200Ω 以下</td> <td>E B (14φ) x 3連-2組</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>E C</td> <td>10Ω 以下</td> <td>E B (14φ) x 3連-2組</td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>E D</td> <td>100Ω 以下</td> <td>E B (10φ) x 1</td> </tr> <tr> <td>雷保護</td> <td>E L</td> <td>10Ω 以下</td> <td>E P x 1</td> </tr> <tr> <td>高圧避雷器</td> <td>E L H</td> <td>10Ω 以下</td> <td>E B (14φ) x 3連-2組</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	共同接地	E A E D	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組	A種	E A	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組	B種	E B	200Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組	C種	E C	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組	D種	E D	100Ω 以下	E B (10φ) x 1	雷保護	E L	10Ω 以下	E P x 1	高圧避雷器	E L H	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																														
共同接地	E A E D	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組																														
A種	E A	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組																														
B種	E B	200Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組																														
C種	E C	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組																														
D種	E D	100Ω 以下	E B (10φ) x 1																														
雷保護	E L	10Ω 以下	E P x 1																														
高圧避雷器	E L H	10Ω 以下	E B (14φ) x 3連-2組																														
9 埋設表示	・ 図面特記による。 雷保護設備用及び共同接地極の表示 ・ 黄銅板製 ・ ステンレス製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 800 x 300のコンクリート杭又は、プラスチック杭に方向種別を彫り込んだもの。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。 地中配線には電圧、線路長に關係なく標準シート(ダブル)を管頂と地表面の中間に設ける。																																
10 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付のこと。																																
11 絶縁抵抗等の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗等を測定し、測定表を監督職員に提出する。																																
⑫ 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。																																
13 塵上・塵割の支持金物	原則としてステンレス製とする。(鍍金金物は除く)																																
14 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。																																
15 はつり	既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを用いる。																																
⑬ あと施工アンカー	あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。																																
17 配線器具	タンブラスイッチは大角型連用形(ネーム入)とする。 壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電流等の表示を行う。 呼出ボタンは点字付とする。																																
18 照明器具等の接地	接地線は原則として1E 1.6mm以上(緑色)とする。また、ケーブルの一芯を使用する場合は、緑色の芯線とする。																																
19 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの(定格電流15A以上)及び配線が束線となるものは位置ボックスを設けなくてよい。																																
20 非常用照度の測定	各階層2面所以上を測定し、避難動線を考慮した位置とする。																																
21 一般照度の測定等	照明全般において、センサの動作及び機能の確認を含む照度測定を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ※照度測定 (100%点灯時 (※夜間・曇天)) → 昼光率 (調光制御点灯時 (※夜間・曇天)) ※照度測定基準: JIS C 7612に準じて行うこと。																																

項目	特記事項																																			
22 受電設備	・ 電力ヒューズ(現用の定格値)を予備用と同数量納入し、電気室等に保管する。 ※ SOG制御装置の外箱は原則としてステンレス製とする。 ※ 変圧器に防振ゴムを取り付ける場合は、地震による変位を抑制するための機能を要する。																																			
23 テレビ共同受信設備	分配器、分配器、直列ユニットはCS・BS・UHF共用形(デジタル放送対応品)とする。 電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要 (a)受信レベル (b)ビット誤り率(BER) (c)寛帯誤差比(MER) (d)受信電質 ※測定内容に関しては、監督職員と協議すること。																																			
24 構内埋設線路	埋設深さ ・ 一般敷地 600mm以上 ・ 舗装道路 600mm以上 ・ 公道 800mm以上 地中管路には、管下50mm、管上100mm程度保線砂を入れる。																																			
25 ハンドホール	水抜き穴は現場の水位を確認の上、要否を検討すること。																																			
26 耐震施工	設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)」による。 局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により、選定する。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 備考 100kg以上の機器に適用するが、それ以下の機器については監督職員と協議する。 地域係数は1.0とし、設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。 施設の分類 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 重要機器 ・ 受電設備 ・ 自家発電設備 ・ 蓄電池設備 ・ 無停電電源装置 ・ 幹線用分電盤 ・ その他() 局部震度法による建築設備機器(水槽を除く)の設計用標準水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>耐震クラス</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>S 2.0 (2.0)</td> <td>A 1.5 (2.0)</td> <td>B 1.5 (2.0)</td> <td>B 1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> </tbody> </table> 備考 () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 太陽光発電(太陽電池アレイ)用基礎の強度計算に用いる用途係数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>特定の施設 (極めて重要な太陽光発電システム)</th> <th>一般の施設 (通常の太陽光発電システム)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用途係数</td> <td>1.32</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> 備考 通常の太陽光発電システムの風速の設計用再現期間を50年とし、これが用途係数の1.0に相当する。	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設		耐震クラス	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	S 2.0 (2.0)	A 1.5 (2.0)	B 1.5 (2.0)	B 1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	用途	特定の施設 (極めて重要な太陽光発電システム)	一般の施設 (通常の太陽光発電システム)	用途係数	1.32	1.0
設置場所	耐震安全性の分類																																			
	特定の施設		一般の施設																																	
耐震クラス	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																
上層階、屋上及び塔屋	S 2.0 (2.0)	A 1.5 (2.0)	B 1.5 (2.0)	B 1.0 (1.5)																																
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																
用途	特定の施設 (極めて重要な太陽光発電システム)	一般の施設 (通常の太陽光発電システム)																																		
用途係数	1.32	1.0																																		
27 特定天井への対応	天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。																																			
28 風圧力	本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、風速圧を 求める場合の風速(Vo)及び地表粗糙土区分は、次の数値とする。(ポール型照明についてはJIL1003を適用とする。) 風速(Vo): ・ 38m/sec (・ コンクリート柱 ・ テレビアンテナ ・ 避雷針 ・ 太陽光電池アレイ) ・ 60m/sec (・ ポール型照明) 地表面粗糙土区分: ※ III																																			

機器取付高		
名 称	測 点	取付高 (mm)
ブラケット(一般)	床～中心	2,100
ブラケット(踊場)	床～中心	2,500
ブラケット(顕上)	顕上端～中心	150
避難口誘導灯	床～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下
スイッチ(一般)	床～中心	1,300
スイッチ(住宅)	床～中心	1,200
スイッチ(多機能トイレ)	床～中心	※1
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般)	床～中心	300
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(和室)	床～中心	150
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(台所)	台～中心	150
コンセント(保育園)	床～中心	1,100~1,200 ※1
コンセント(車庫)	床～中心	800
引込開閉器箱(低圧)	床～中心	1,500
分電盤、制御盤	床～中心	1,500(上端1,900以下)
ホーム分電盤	床～中心	(下端2,000以下) ※1
開閉器箱	床～中心	1,500
接地用端子箱	地上、床～中心	500
雷保護接地端子箱	床～下端	800
接地極埋設機	地上～中心	600
室内端子盤(廊下、室内)	床～下端	300
中間端子盤(EPS、電気室)	床～中心	1,500
時計	床～中心	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	床～中心	(天井高)×0.9 ※2
アッテネータ	床～中心	1,300
インターホン	床～中心	1,300
外部受付用インターホン機	床～中心	※1
呼出ボタン(多機能トイレ)	床～中心	※1
復帰ボタン(多機能トイレ)	床～中心	1,800
廊下表示灯(多機能トイレ)	床～中心	2,000

機器取付高		
名 称	測 点	取付高 (mm)
テレビ機器収容箱	床～中心	1,800
火報受信機(複合盤)	床～操作部	800~1,500
副受信機	床～中心	1,500
火報総合盤	床～中心	800~1,500
ガス漏れ検知器(LPGガス)	床～中心	300
ガス漏れ検知器(都市ガス)	天井面～中心	(天井面)-200

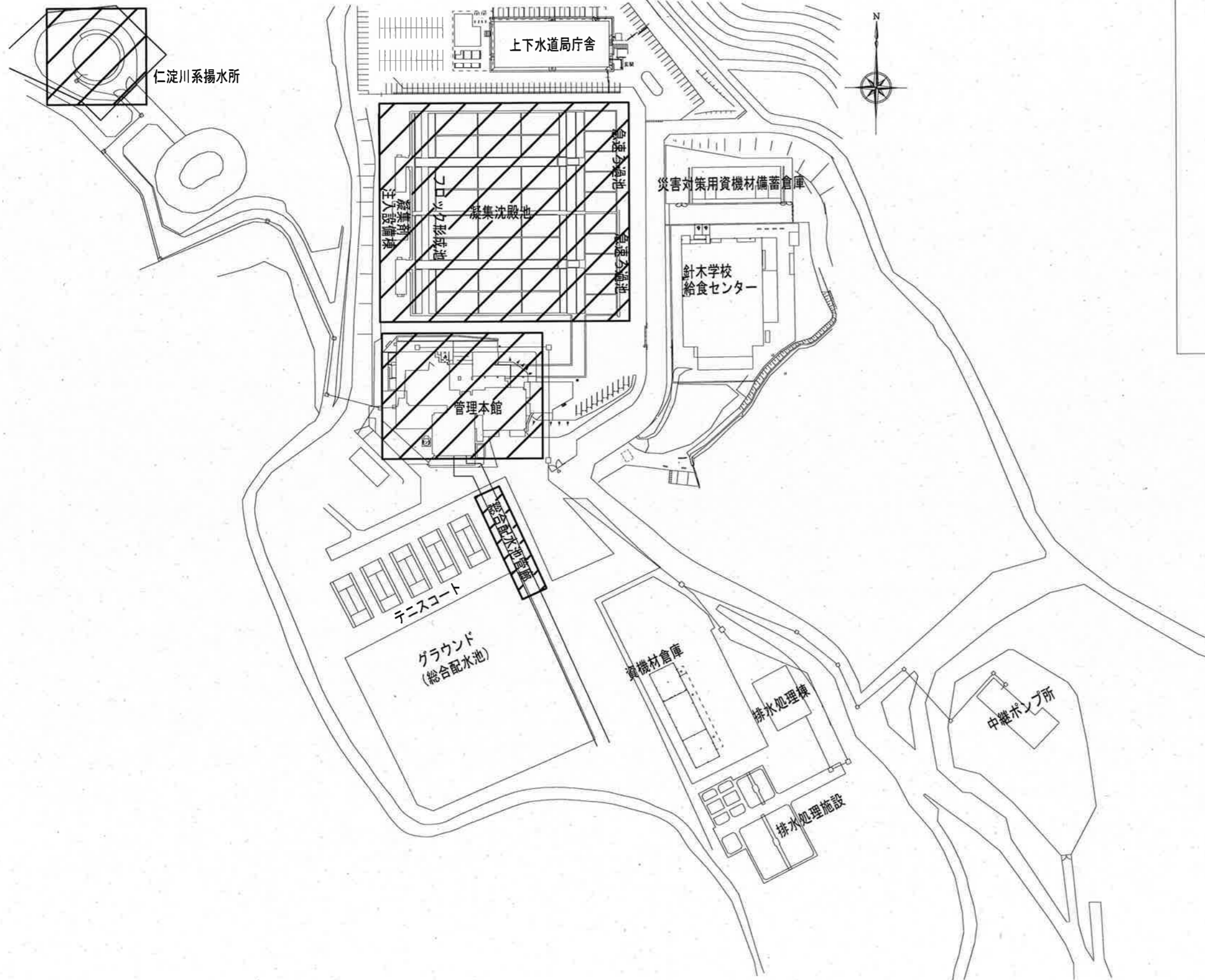
備考 ※1 別途監督職員と協議すること。 ※2 天井高が、2,500~3,000mmの場合に適用する。

メーカーリスト	
機材名	メーカー名
電線管類・同付製品	JISによる
電線類等	公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による
耐火・耐熱ケーブル	登録認定機関の認定を受けている旨の表示をしたもの
配線器具類	JISによる
非常用照明器具	公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による
誘導灯器具	登録認定機関の認定証書が貼付されたもの
照明器具	岩崎電気 東芝ライテック パナソニック 三菱電機 照明 逸陽照明 コイト電工
高圧交流遮断器	東芝 日新電機 日立製作所 富士電機 三菱電機 明電舎 東光高岳 愛知電機製作所(※電圧7.2KVにおいて遮断電流12.5KA以下のもの)
配線用遮断器	JIS C 8201-2-1による
漏電遮断器	JIS C 8201-2-2による
高圧限流ヒューズ	エナジーサポート 東芝 富士電機 三菱電機 日立製作所
高圧負荷開閉器	上紀5社のほか 大垣電機 戸上電機製作所
電圧開閉装置	JIS C 8201、JEM1039による
高圧進相コンデンサ	指月電機製作所 東芝 日新電機 ニチコン パナソニック 三菱電機 利昌工業(※モールドコンデンサに限る)
低圧進相コンデンサ	JISによる
高圧用変圧器	愛知電機 ダイヘン 東光高岳 東芝 日新電機 日立製作所 富士電機 パナソニック 三菱電機 明電舎 利昌工業(※モールド変圧器に限る)
自家発電装置	日本内燃力発電設備協会の認定証書が貼付されたもの
蓄電池設備	防災電源用は登録認定機関の認定証書が貼付されたもの レゾナック 古河電池 パナソニック GSユアサ 明電舎 サンケン電気
整流装置	認定品目等で指定されているものは除く
交流無停電電源装置	京三製作所 サンケン電気 レゾナック 東光高岳 東芝 日本電気機器 日立製作所 容量200KVA以下蓄電池を除く 富士電機 古河電池 パナソニック 三菱電機 明電舎 GSユアサ
一般放送装置(消防用以外)	TOA JVCケンウッド パナソニック
電気時計	シテズン TIC セイコタイムクリエーション パナソニック
自動閉鎖装置	運動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの
非常放送装置	登録認定機関の認定証書が貼付されたもの
非常警報装置(非常ベル)	登録認定機関の認定証書が貼付されたもの
火災報知装置	登録認定機関の検定合格証書が貼付されたもの
テレビ監視機器	DXアンテナ 東芝ライテック パナソニック マスプロ電工 HYSエンジニアリングサービス
避雷針	大阪避雷針工業 NIPエンジニアリング 東京避雷針工業
インターホン・ナースコール	アイホン ケアコム パナソニック 東芝ライテック
電話交換装置	登録認定機関の適合マーク、技術基準適合自己確認マークが貼付されたもの
ホーム分電盤	パナソニック 東芝ライテック 日東工業 テンパール工業 河村電機産業 内外電機
盤類	イトウテック 共栄電機工業 光電設
舞台照明装置	松村電機製作所 東芝ライテック パナソニック 丸茂電機
音響・映像装置	パナソニック TOA ソニー ヤマハ バイオニア JVCケンウッド 三菱電機
中央監視制御装置	ezbil パナソニック 東芝 富士通 日立製作所 富士電機 明電舎
昇降機設備	日立製作所 東芝エレベータ 日本オーチス・エレベータ フジテック 日本エレベータ 三菱電機
太陽光発電システム	パナソニック 京セラ 東芝 三菱電機 GSユアサ シャープ 明電舎 ※ メーカーリスト以外の機材でも監督職員が同等品以上と認めた場合、若しくは評価名簿に記載されたものについてはこれによらない。

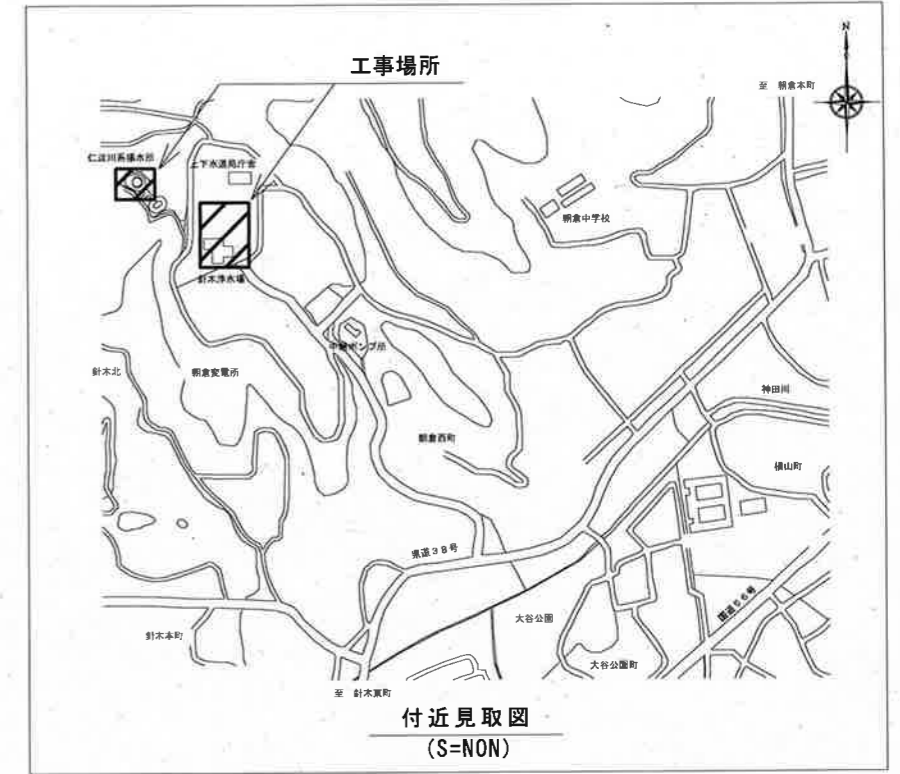
打合せ事項		
官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日
打合せ事項		

官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日
打合せ事項		

課長	課長補佐	係長	調査	設計
令和6年度				
針木浄水場構内交換設備更新工事				E-02
特記仕様書(2)				NON
高知市上下水道局浄水課				



全体平面図
(S=1/2000)

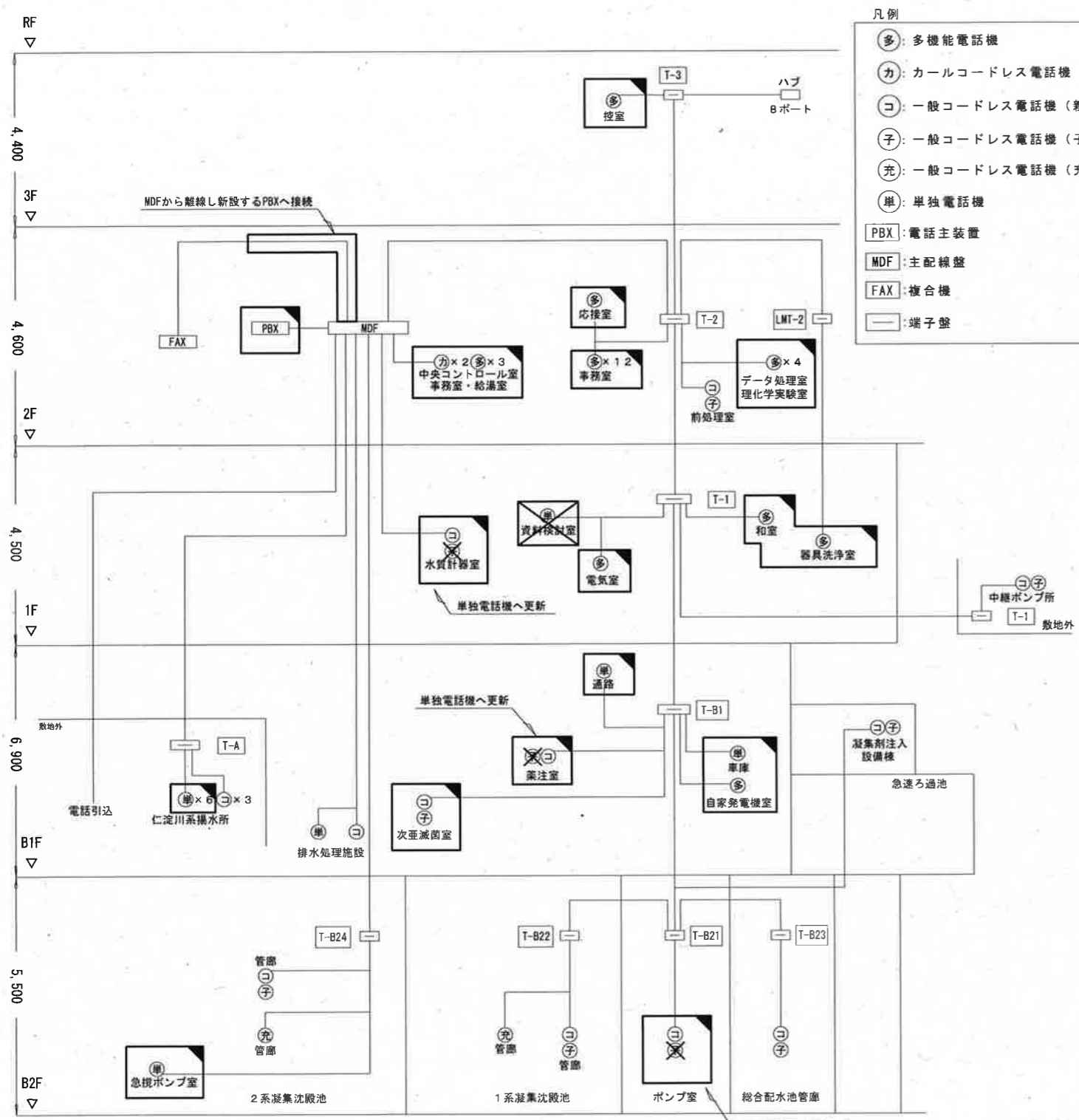


付近見取図
(S=NON)

注記

1. [Hatched Box] は、今回工事場所を示す。
2. その他は、既設を示す。

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-03
				付近見取図, 全体平面図 縮尺 NON 1/2000
高知市上下水道局浄水課				



構内交換設備 系統図

- 凡例
- ☉: 多機能電話機
 - ☎: カールコードレス電話機
 - ☎: 一般コードレス電話機 (親機)
 - ☎: 一般コードレス電話機 (子機)
 - ☎: 一般コードレス電話機 (充電台親機)
 - ☎: 単独電話機
- PBX: 電話主装置
MDF: 主配線盤
FAX: 複合機
—: 端子盤

機器仕様 (施工後)

PBX	電話主装置	(新設)
一般仕様 NTT西日本のIP電話サービス(ひかり電話オフィスA)をゲートウェイ無しで直取可能であること。 増設時はユニットなどの追加により容易に行えること。 機器の構成は、主装置+増設架+バッテリーキャビネットの段積とすること。 電話主装置の更新に伴い電話回線をひかり電話オフィスAへ変更する手続きを行うこと。 なお、ひかり電話へ移行する初期工事の費用は発注者の負担とする。		
交換方式	制御方式	蓄積プログラム制御方式
	処理方式	分散制御方式
	通話方式	時分割交換方式
番号計画	内線番号	4桁まで 1~4桁混在可
	局線発信	発信ボタン
	局線応答	応答ボタンまたはオフフック応答
使用電源	AC100V±10V(50/60Hz)	
トラヒック条件	7.0HCS	
線路条件	多機能電話機 40Ω 一般電話機 400Ω	
構造	キャビネット方式	
環境条件	周囲温度 0℃ ~ 40℃ 相対湿度 20% ~ 80% (ただし結露しないこと)	
停電対応	3時間停電補償	
サービス機能	内線代表 不在可変転送 代理応答 外線自動着信 外線自動応答 保留転送 保留音送出 システム短縮登録 個別短縮登録 自己保留 パーク保留 着信音識別 ハウラー音送出 発信者番号通知 再ダイヤル ナンバーディスプレイ 発信履歴 昼・夜間モード切替 グループ着信 テナント分け ダイヤルイン ひかり電話対応 サービスクラス ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPパッケージ 通話録音 (500時間以上)	

・回線別使用数

回線種別	使用回線数	実装回線数	備考
光電話	6回線	16回線	
アナログ局線	2回線	2回線	災害時優先
アナログ専用線 (LD)	1回線	2回線	針木浄水場一旭浄水場間
アナログ内線	40回線	48回線	
デジタル内線	27回線	32回線	

・機器構成

種類	施工後数量	更新数量	備考
単独電話機	13	12	
多機能電話機	25	25	
一般コードレス電話機	13	1	親機1台に付き子機1台
カールコードレス電話機	2	2	
FAX (複合機)	1	0	

電話機 (新設)

機種	仕様
☎ 単独電話機	機能ボタン: 転送/保留 壁掛け: 平面図による
☎ 一般コードレス電話機	表示: 液晶ディスプレイ 機能ボタン: 保留/スピーカ/再ダイヤル 電話機: 有り 着信履歴: 有り 壁掛け: 平面図による 子機: 1台
☎ カールコードレス電話機	方式: デジタル フリーアサイン: 24ボタン以上 表示: 漢字 (全角16文字以上) 機能ボタン: 保留/スピーカ/再ダイヤル/短縮 着信ランプ: 有り 発信履歴: 有り
☉ 多機能電話機	方式: デジタル フリーアサイン: 24ボタン以上 表示: 漢字 (全角16文字以上) 機能ボタン: 保留/スピーカ/再ダイヤル/短縮 電話機: 有り 着信ランプ: 有り 発信履歴: 有り 壁掛け: 平面図による

機器仕様 (施工前)

PBX	既設電話主装置	(撤去)
主な仕様 ポート数 152		
交換方式	制御方式	蓄積プログラム方式
	処理方式	分散制御方式
	通話方式	時分割PCM方式
		RTP: G.711, G.729a
	局線応答方式	ダイヤルイン方式, ダイレクトインライン方式
		分散応答方式, 個別着信方式
		ダイヤルインダイヤル方式, 分散テナント方式
		中継台方式 ISDN着サブアドレス
使用電源	AC100V±10V(50/60Hz)	
トラヒック条件	5.4HCS	
配線方式	デジタル多機能電話機: スター1対 アナログボタン電話機: スター2対	
構造	据え置自立型	
環境条件	周囲温度 0℃ ~ 40℃ 相対湿度 20% ~ 80% (ただし結露しないこと)	
停電対応	3時間停電補償	
サービス機能	内線相互接続 内線代表呼出 不在・無応答転送 外線転送 自己保留 保留音送出 パーク保留 着信音識別 通話録音 運用モード切替 固定短縮ダイヤル 発信者番号通知 再ダイヤル ナンバーディスプレイ 発信履歴 夜間切替 グループ着信 LD専用線パッケージ 多機能内線パッケージ アナログ内線パッケージ	

・回線別使用数

回線種別	使用回線数	実装回線数	備考
ISDN回線	2回線		
アナログ局線	2回線	合計8回線	災害時優先
アナログ専用線 (LD)	1回線	2回線	針木浄水場一旭浄水場間
アナログ内線	39回線	48回線	
デジタル内線	27回線	48回線	

・機器構成

種類	施工前数量	撤去数量	備考
単独電話機	11	10	デザインテレホン VE-F03
多機能電話機	25	25	12キー漢字表示付電話機 VB-E411K-KS
一般コードレス電話機	16	4	VE-CV03
カールコードレス電話機	2	2	12キーカールコードレス電話機 VB-E411DC
FAX (複合機)	1	0	キャノン Image Runner 4945F

注記

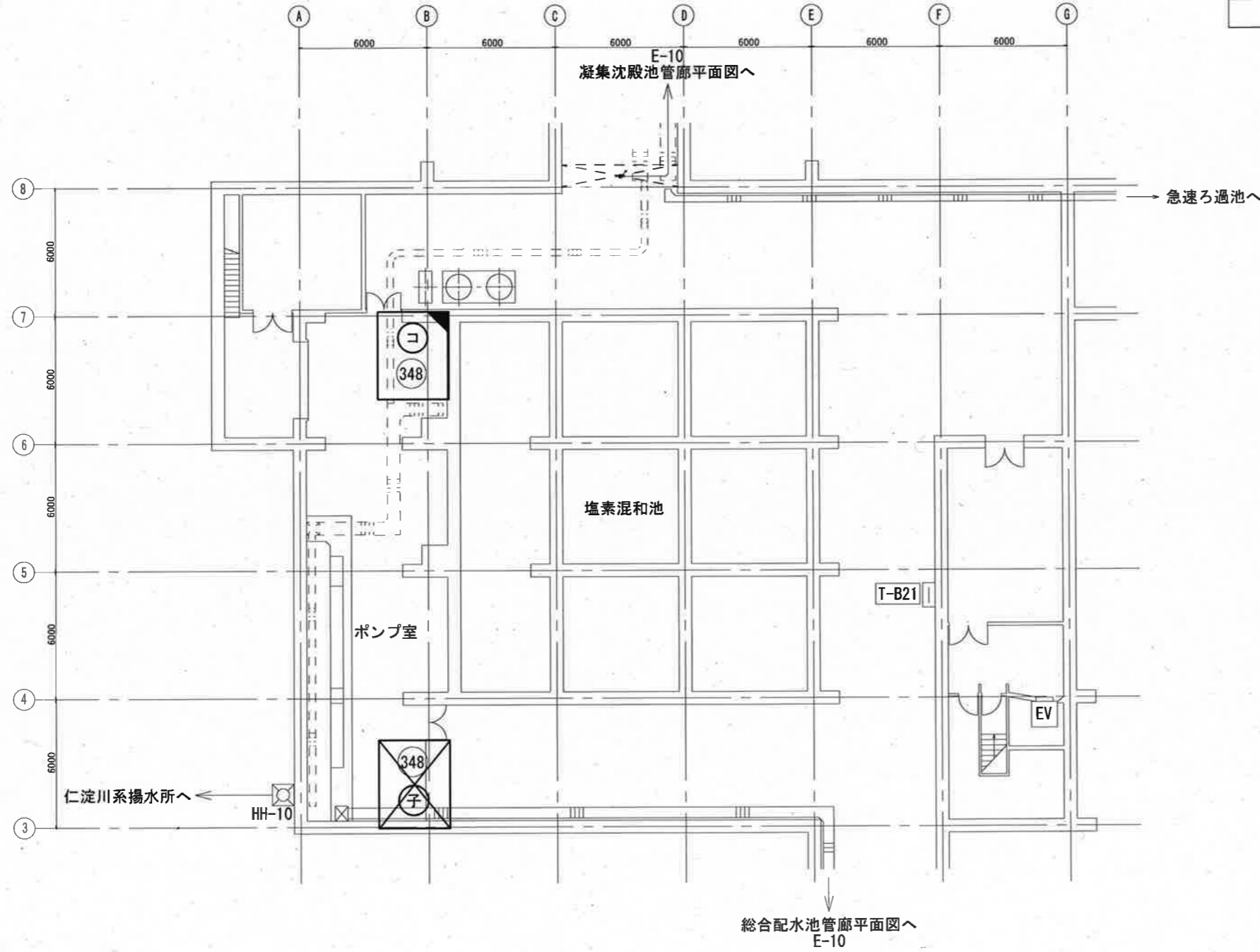
- ☐ は、今回工事 (更新) を示す。
- ☒ は、今回工事 (撤去) を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 E-04
構内交換設備系統図				縮尺 NON
高知市上下水道局浄水課				

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
348	コ	一般コードレス電話機(親機)	単独電話機へ更新
348	子	一般コードレス電話機(子機)	撤去
	—	端子盤	既設



管理本館 地下2階平面図

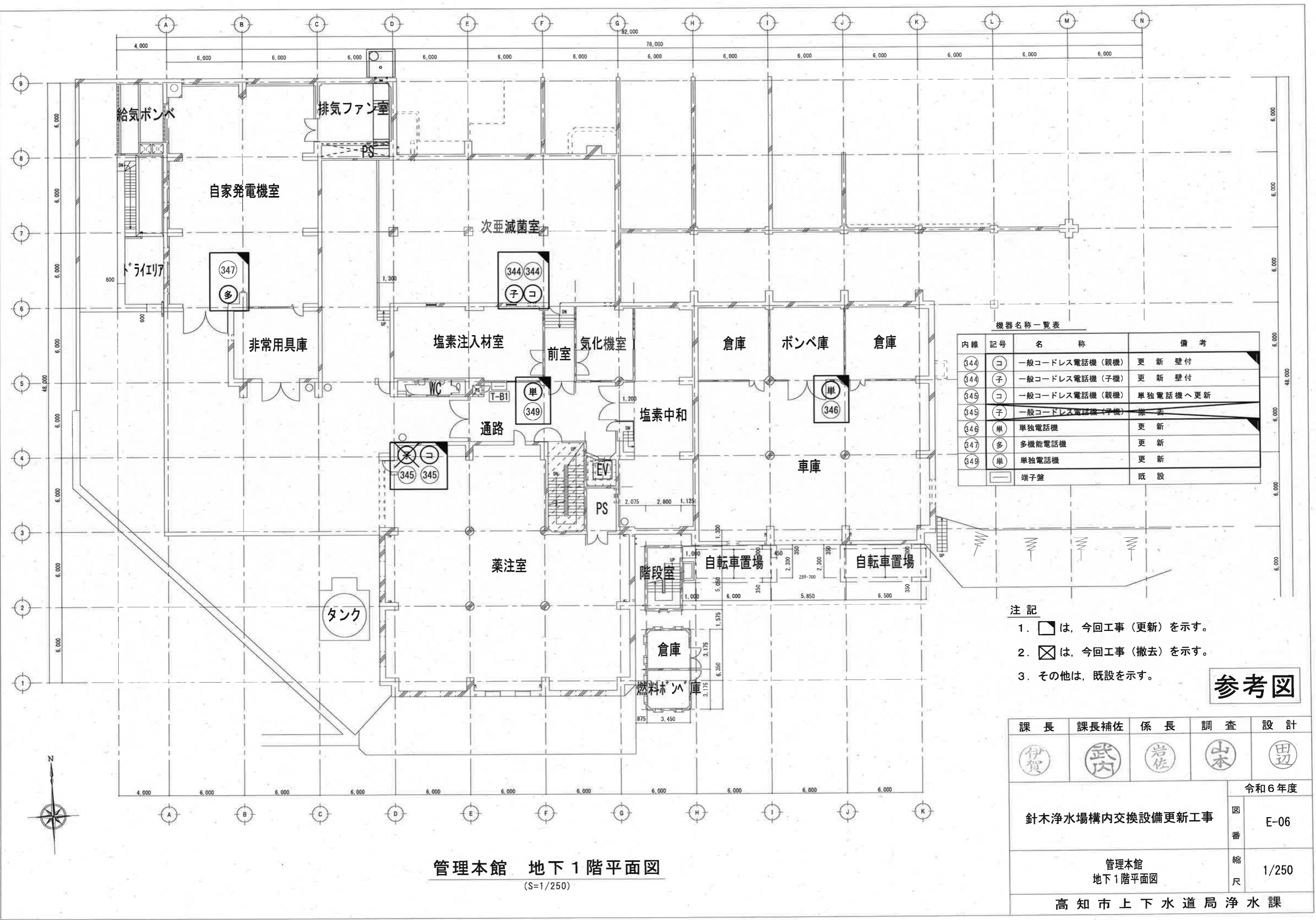
(S=1/250)

注記

1. ◻ は、今回工事(更新)を示す。
2. ⊗ は、今回工事(撤去)を示す。
3. その他は既設を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-05
管理本館 地下2階平面図				縮尺 1/250
高知市上下水道局浄水課				



機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
344	コ	一般コードレス電話機(親機)	更新 壁付
344	子	一般コードレス電話機(子機)	更新 壁付
345	コ	一般コードレス電話機(親機)	単独電話機へ更新
345	子	一般コードレス電話機(子機)	撤去
346	単	単独電話機	更新
347	多	多機能電話機	更新
349	単	単独電話機	更新
		端子盤	既設

- 注記
- は、今回工事(更新)を示す。
 - ⊗ は、今回工事(撤去)を示す。
 - その他は、既設を示す。

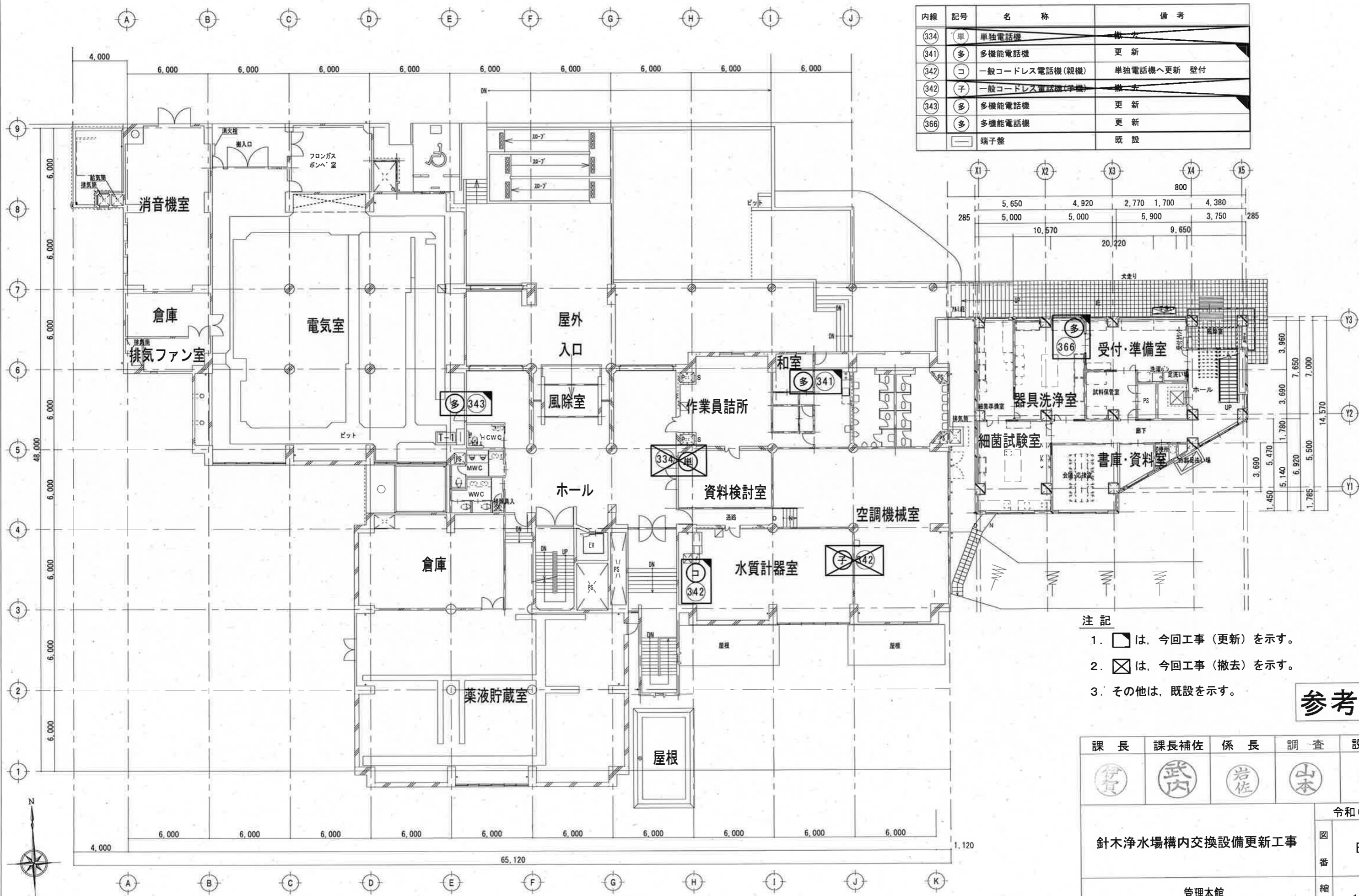
参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 E-06
管理本館 地下1階平面図				縮尺 1/250
高知市上下水道局浄水課				

管理本館 地下1階平面図
(S=1/250)

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
334	単	単独電話機	撤去
341	多	多機能電話機	更新
342	コ	一般コードレス電話機(親機)	単独電話機へ更新 壁付
342	子	一般コードレス電話機(子機)	撤去
343	多	多機能電話機	更新
366	多	多機能電話機	更新
	□	端子盤	既設



- 注記
- は、今回工事（更新）を示す。
 - ⊗ は、今回工事（撤去）を示す。
 - その他は、既設を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度
				図番 E-07
管理本館 1階平面図				縮尺 1/250
高知市上下水道局浄水課				

管理本館 1階平面図
(S=1/250)

○	露出モジュージャック
●	埋込モジュージャック

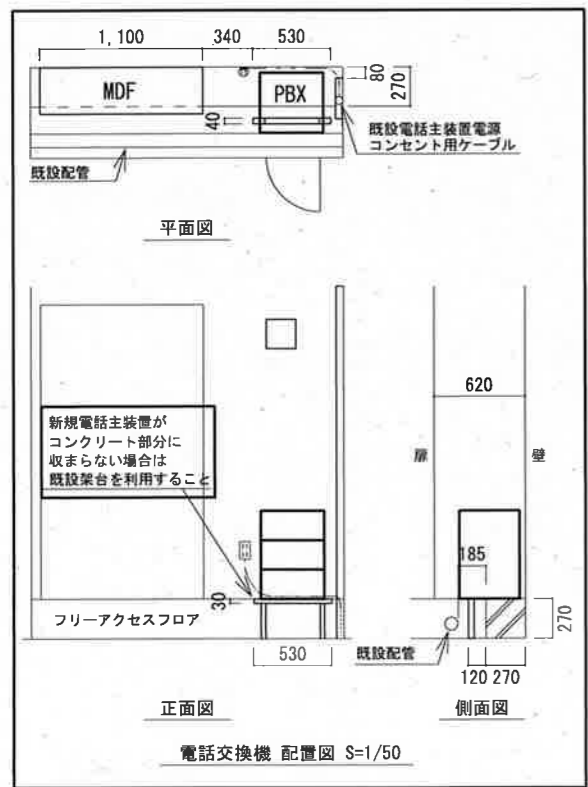
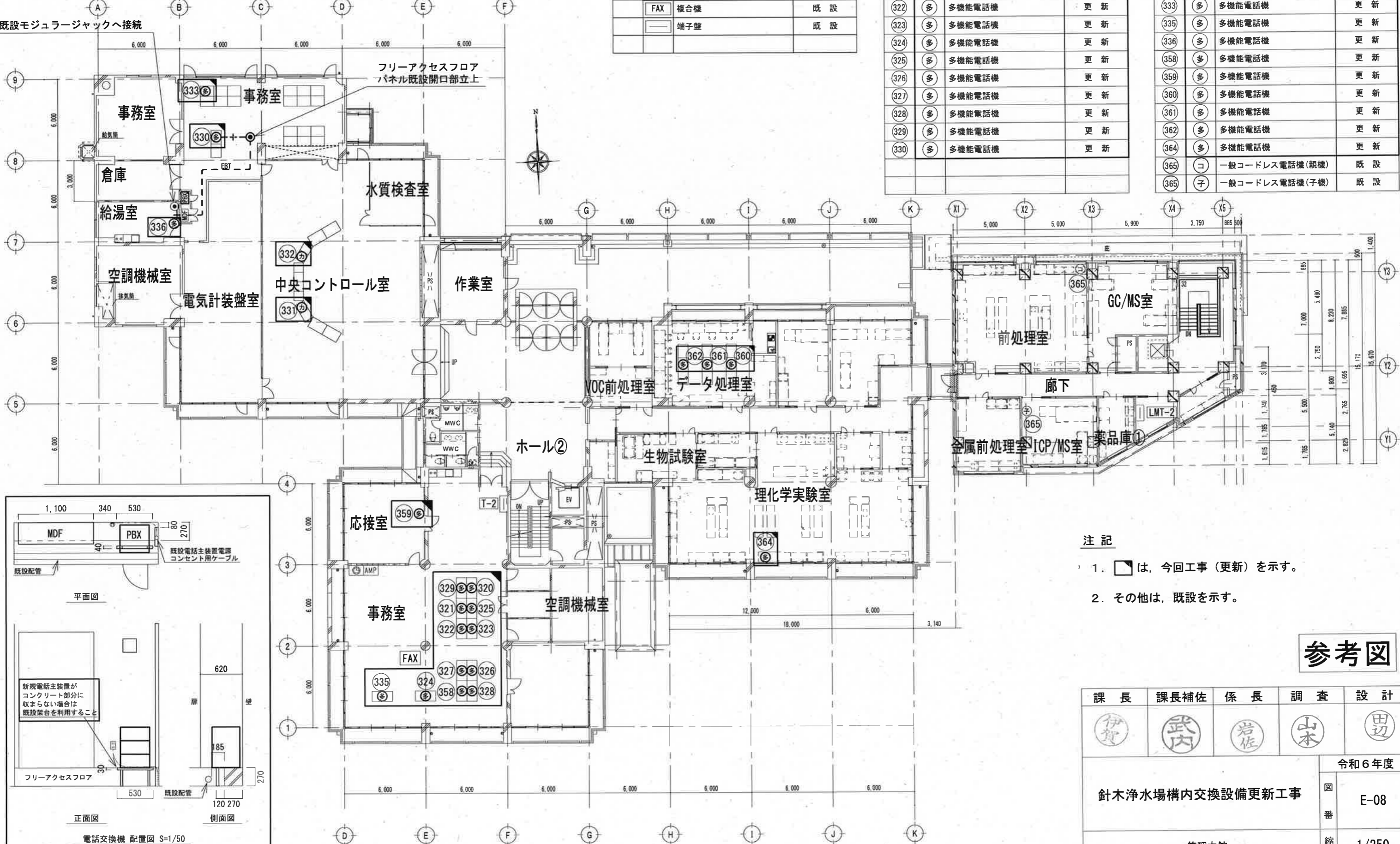
--- FBT ---	電子ボタン電話用ケーブル 0.5mm-2P	フリーアクセスフロア内コロガシ
---	モジュラーケーブル6種4芯	床上海コログシ

内線	記号	名称	備考
	MDF	主配線盤	既設
	PBX	電話主装置	更新
	FAX	複合機	既設
		端子盤	既設

内線	記号	名称	備考
320	多	多機能電話機	更新
321	多	多機能電話機	更新
322	多	多機能電話機	更新
323	多	多機能電話機	更新
324	多	多機能電話機	更新
325	多	多機能電話機	更新
326	多	多機能電話機	更新
327	多	多機能電話機	更新
328	多	多機能電話機	更新
329	多	多機能電話機	更新
330	多	多機能電話機	更新

内線	記号	名称	備考
331	カ	カールコードレス電話機	更新
332	カ	カールコードレス電話機	更新
333	多	多機能電話機	更新
335	多	多機能電話機	更新
336	多	多機能電話機	更新
358	多	多機能電話機	更新
359	多	多機能電話機	更新
360	多	多機能電話機	更新
361	多	多機能電話機	更新
362	多	多機能電話機	更新
364	多	多機能電話機	更新
365	コ	一般コードレス電話機(親機)	既設
365	子	一般コードレス電話機(子機)	既設

既設モジュージャックへ接続



注記
 1. □ は、今回工事(更新)を示す。
 2. その他は、既設を示す。

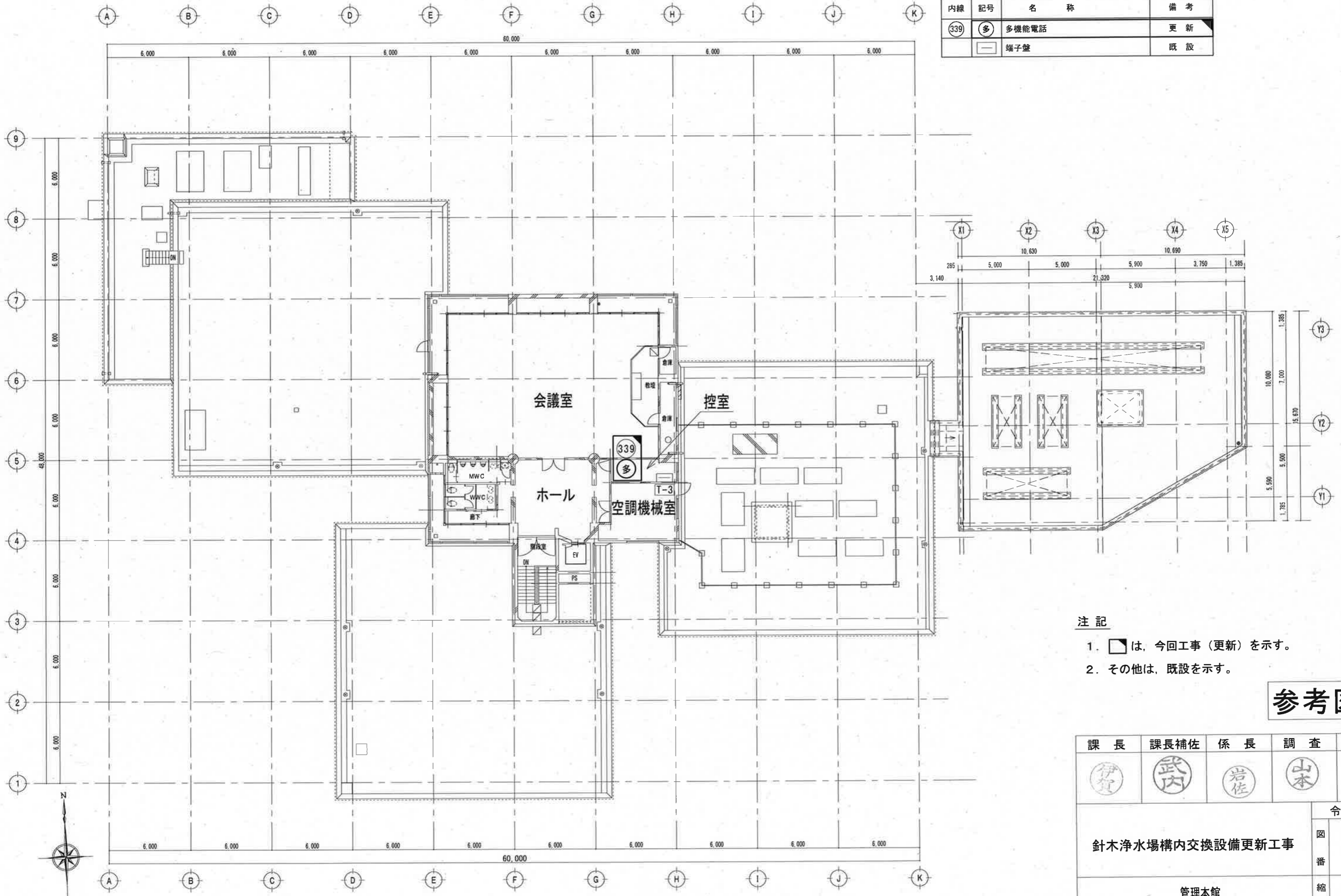
参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度
				図番 E-08
管理本館 2階平面図				縮尺 1/250 1/50
高知市上下水道局浄水課				

管理本館 2階平面図 (S=1/250)

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
339	多	多機能電話	更新
	□	端子盤	既設



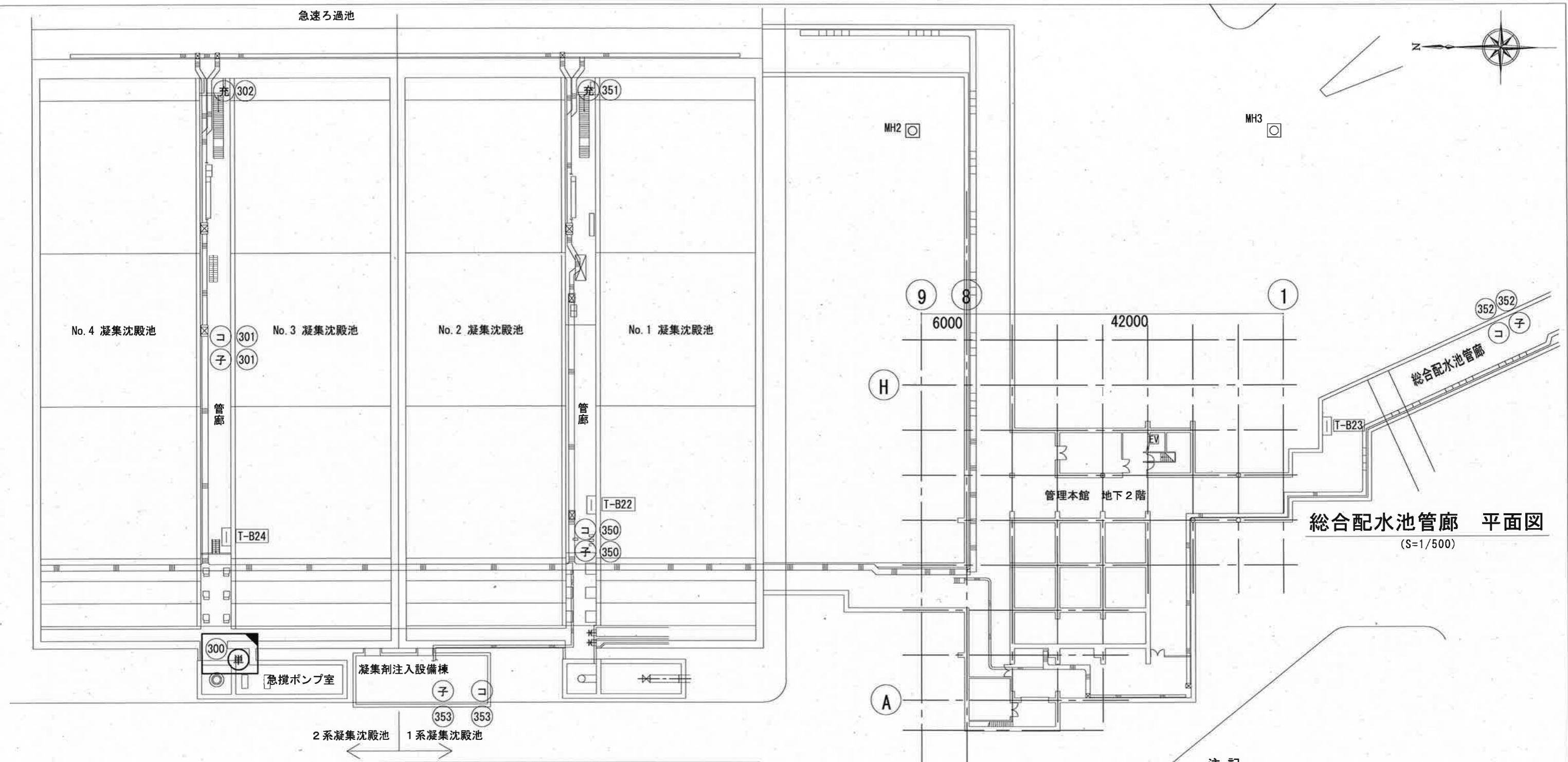
注記

1. □ は、今回工事（更新）を示す。
2. その他は、既設を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-09
管理本館 3階平面図				縮尺 1/250
高知市上下水道局浄水課				

管理本館 3階平面図
(S=1/250)



凝集沈殿池管廊 平面図
(S=1/500)

総合配水池管廊 平面図
(S=1/500)

- 注記
1. は、今回工事（更新）を示す。
 2. その他は、既設を示す。

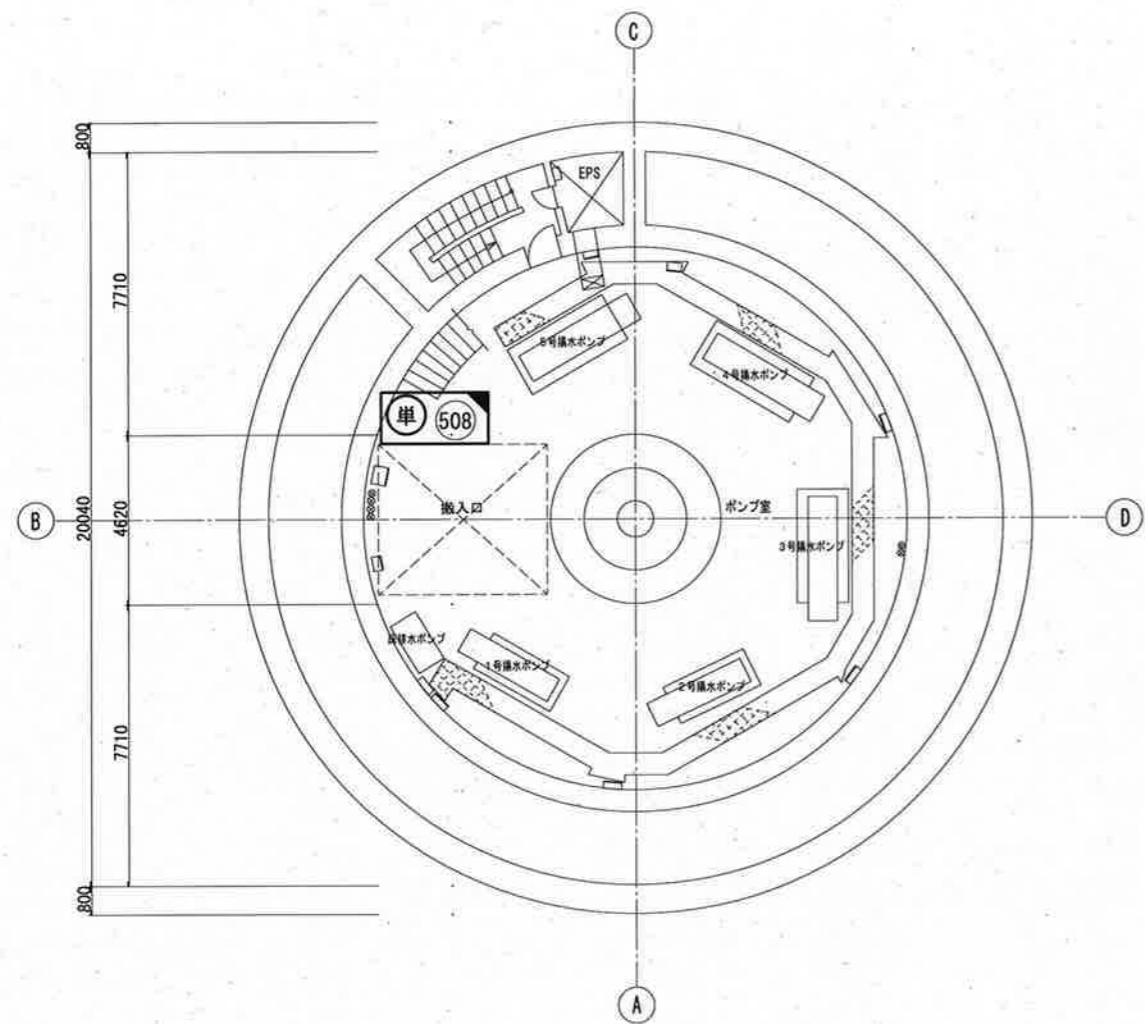
参考図

機器名称一覧表

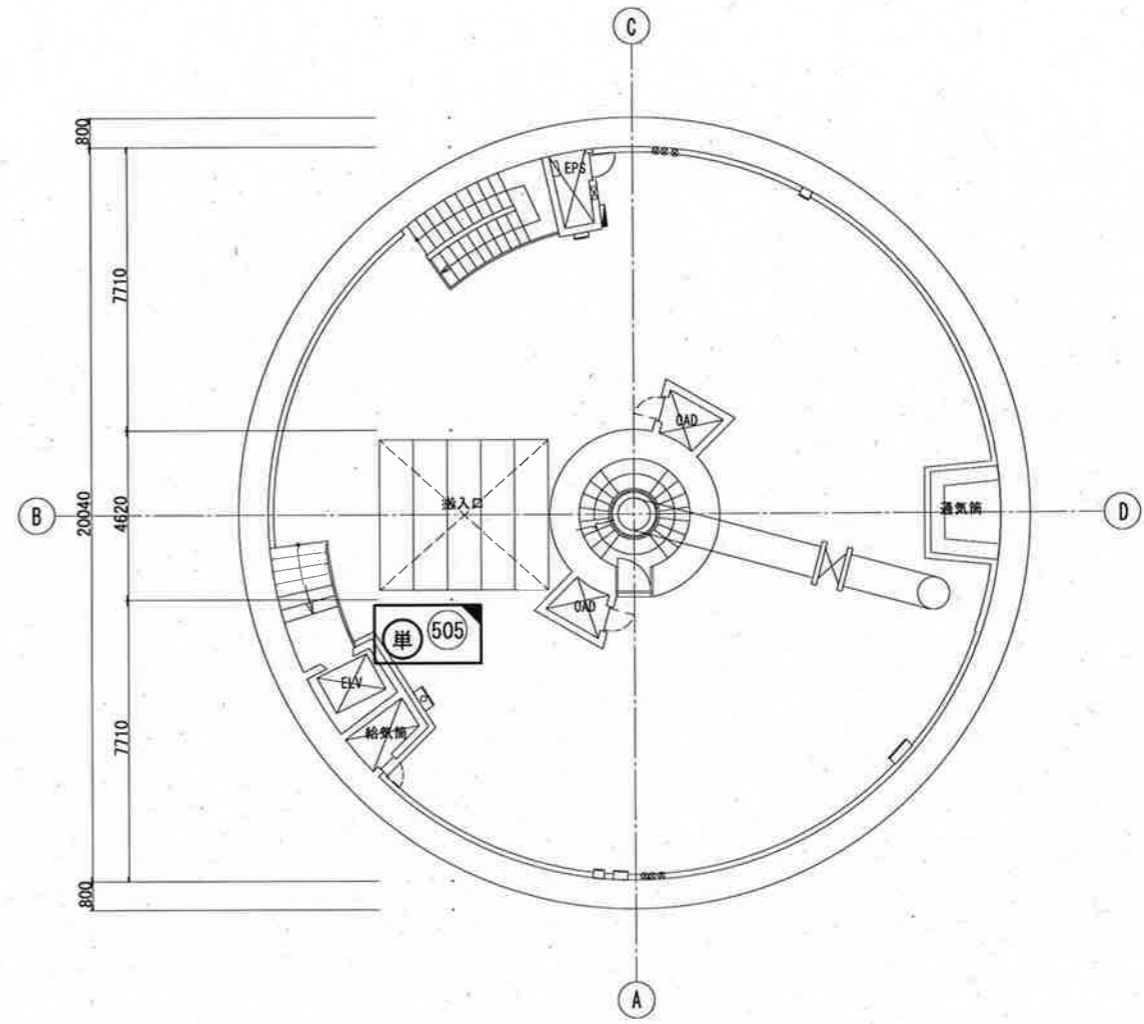
内線	記号	名称	備考
300	単	単独電話機	更新 壁付
301	コ	一般コードレス電話機(親機)	既設
301	子	一般コードレス電話機(子機)	"
302	充	一般コードレス電話機(充電台親機)	"
350	コ	一般コードレス電話機(親機)	"
350	子	一般コードレス電話機(子機)	"

内線	記号	名称	備考
351	充	一般コードレス電話機(充電台親機)	既設
352	コ	一般コードレス電話機(親機)	"
352	子	一般コードレス電話機(子機)	"
353	コ	一般コードレス電話機(親機)	"
353	子	一般コードレス電話機(子機)	"
		端子盤	"

課長	課長補佐	係長	調査	設計
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度
凝集沈殿池管廊、総合配水池管廊 平面図				図番 E-10
高知市上下水道局浄水課				縮尺 1/500



地下8階（ポンプ室）平面図
(S=1:200)



地下5階（配管室）平面図
(S=1:200)

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
508	単	単独電話機	更新 壁付

機器名称一覧表

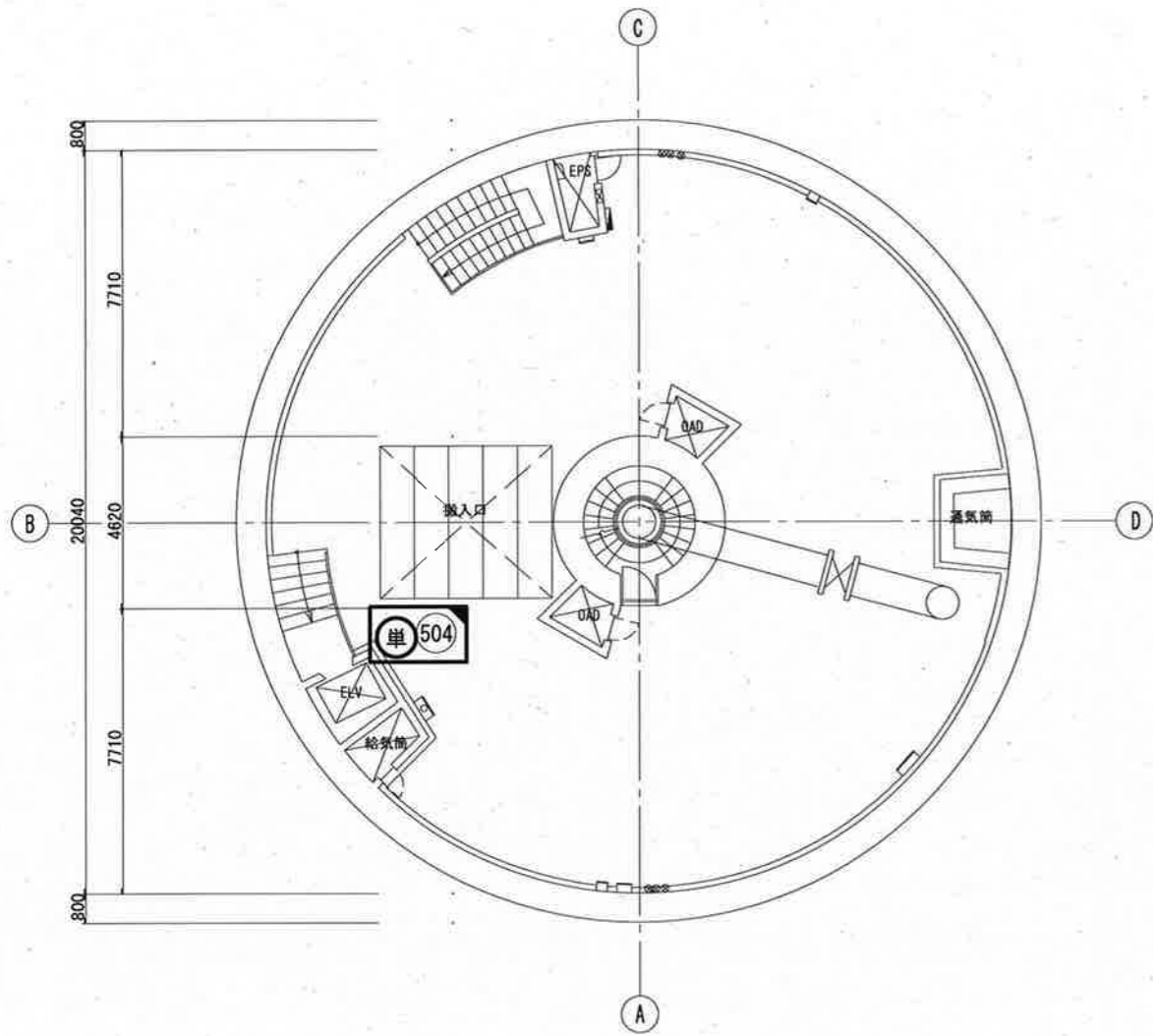
内線	記号	名称	備考
505	単	単独電話機	更新 壁付

注記

1. は、今回工事（更新）を示す。
2. その他は、既設を示す。

参考図

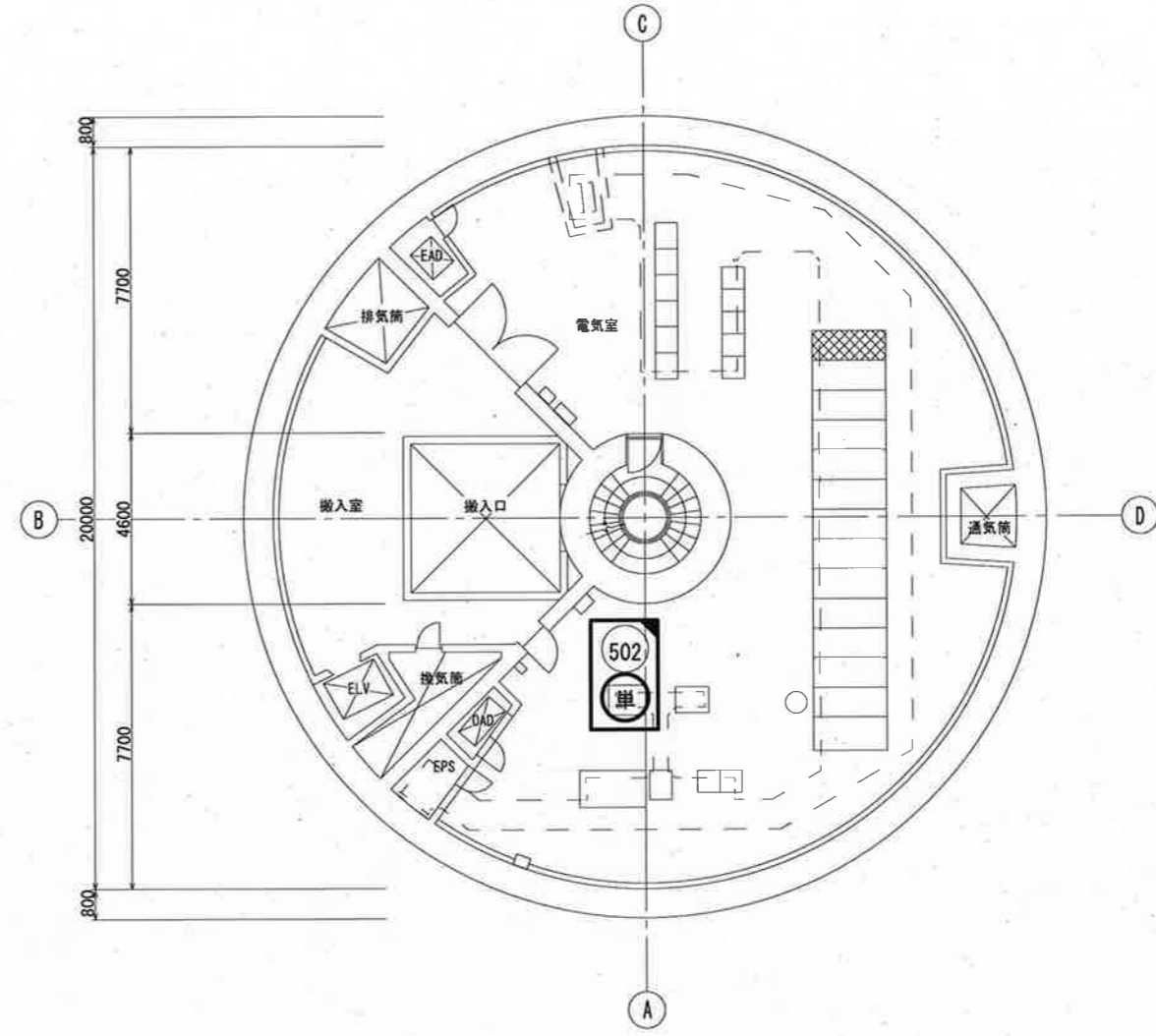
課長	課長補佐	係長	調査	設計
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-11
仁淀川系揚水所 地下8階平面図 地下5階平面図				縮尺 1/200
高知市上下水道局浄水課				



地下4階（流量調整弁室）平面図
(S=1:200)

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
504	単	単独電話機	更新 壁付



地下2階（電気室）平面図
(S=1:200)

機器名称一覧表

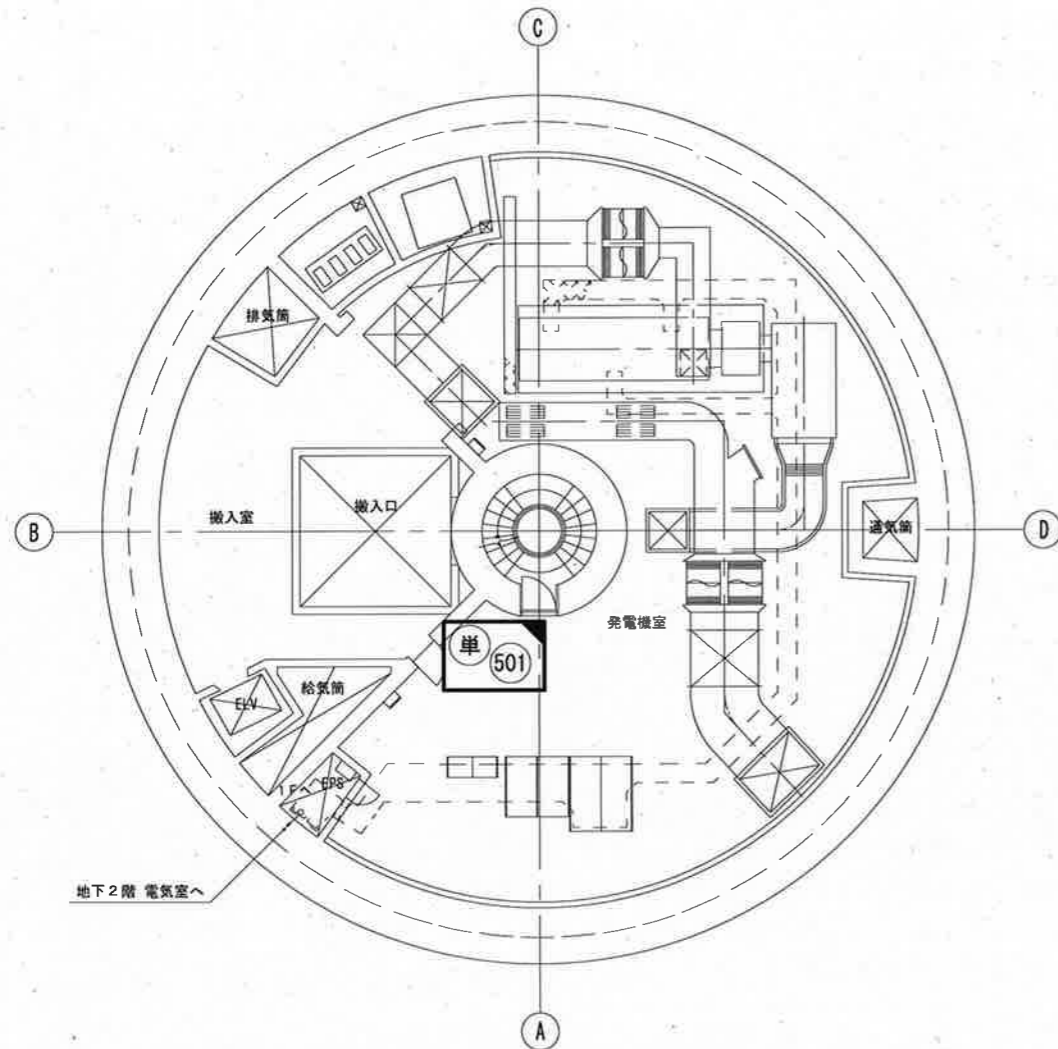
内線	記号	名称	備考
502	単	単独電話機	更新

注記

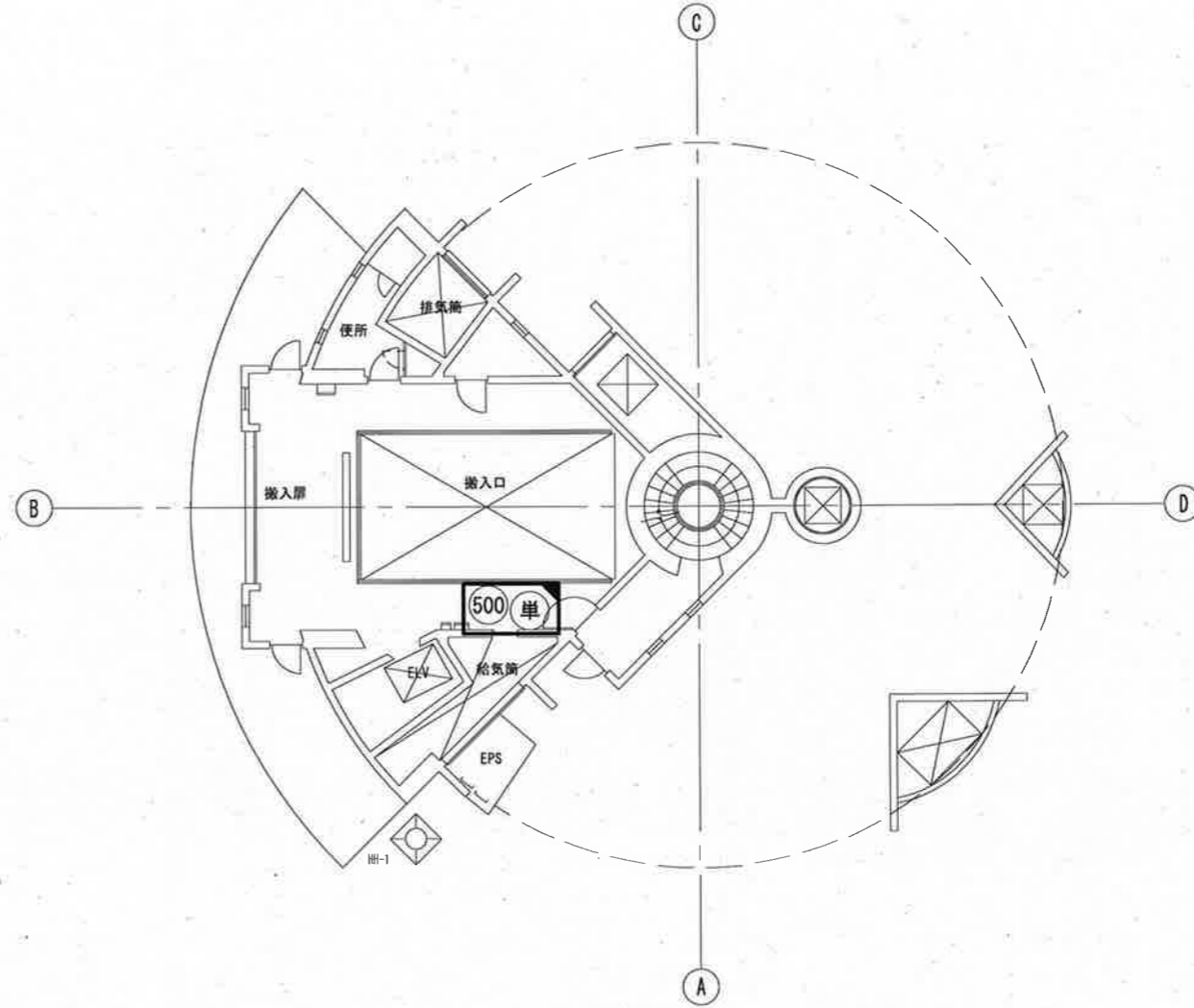
- は、今回工事（更新）を示す。
- その他は、既設を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
伊賀	武内	岩佐	山本	田辺
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-12
仁淀川系揚水所 地下4階平面図 地下2階平面図				縮尺 1/200
高知市上下水道局浄水課				



地下1階（発電機室）平面図
(S=1:200)



1階（搬入室）平面図
(S=1:200)

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
501	単	単独電話機	更新 壁付

機器名称一覧表

内線	記号	名称	備考
500	単	単独電話機	更新 壁付

注記

1. は、今回工事（更新）を示す。
2. その他は、既設を示す。

参考図

課長	課長補佐	係長	調査	設計
針木浄水場構内交換設備更新工事				令和6年度 図番 E-13
仁淀川系揚水所 地下1階平面図 1階平面図				縮尺 1/200
高知市上下水道局浄水課				